

# 石城時報

石城郡石城町平町三丁目  
編輯兼發行人 岡田弘成  
印刷所 加納印刷所  
印刷部 加納印刷所  
電話 一〇五五  
廣告刊行 一ヶ月金拾陸圓  
一月金拾陸圓  
三日刊 (日曜 祭日) 休刊

## 平町の側溝工事

### 六月始め着工

平町側溝工事の前提として側溝工事が、二十一日三組合に對して進行する事になった旨既報の如く、二萬五千五百圓の割合を以て、工費二萬五千四百圓を以て許可の指令があつた。

二十圓のうち半額補助、七千圓は関係民寄附、残額は平町で支出する。二十三日に工事の認可を願ひ出でたから下旬までには指令があり六月早々着工して七月下旬竣工の予定である。

### 植田町會召集

植田町の八年度庶務に關する町會は廿四日午前十時召集する。

### 漁業組合の

### 低資認可

石城郡小名濱、四倉豊間の各漁業組合ではかねてより低利決定した。

## 二名の不良少年

### 大掛りな窃盜

緩驛を荒して捕はる

内郷村大字高坂坑夫爲藏長男大木太郎(一六)農務四男山田富雄(十八)何れも假名は十七日夜、三十三圓郵便貯金通帳を窃取した。外東京、茨城、千葉、栃木を股田行乗車券を窃取して大木は自宅まで平署に捕はれたが、山田は逃走し西白河郡矢吹署に捕へられた。取調べた處兩名は今年二月中旬頃から自宅を飛び出し昨年六月一日平町二丁目山形宮藏方木監督所では二十六日午前十一

### 土木工事入札

平土

二日行つたが四等米八圓十六錢で前より四錢の高値であつた。

### 郡内各所に托兒所設置

石城郡下各町村では農繁期が近づいたので、托兒所を設置して、外小川村では田久徳氏が代表となり六月五日から十日間、大野村では近藤厚助氏が代表で同月十二日より十二日間、植田町は鈴木佐助氏が主任で同月十五日より十日間小学校外三ヶ所に開設することになった。

### 米共同販賣

前回は高値

### 好間の強盜犯人

### 檢事局送り

昨報二十二日午前一時好間村中を奇貨とし郷里へ行つて賣つて好間川中子植木職木田孝平方に來てやると巧に欺いて二十五圓を詐取した外同様手段により數人押入り妻キ(四三)を出及庭丁で斬り瀕死の重傷を負はせ取押へられた内郷村大字宮字町田元坑夫島新松(六九)は平署高橋多き見込で取調中。

### 旅費を詐取

當時住所

### 漁業開始早々

### 豊間大敷網大漁

石城郡各漁は目下鯛の豊漁で賑はつてゐるが、豊間大敷網は十二日から漁業開始した處同日夕刻大鯛五百貫、鰯一千貫の漁獲あり、事業開始早々の事とて幸先が好いと大喜びである。相見ると左の如くし

石城郡南の春蠶

### 一一割增收確實

出廻りは六月中旬

### 一家二名疫痢

平町

### 氣の毒な女

平署員も同情

### 窃盜事件公判

平町

### 小學兒童の貯金

平町各小學校三月末現在兒童の貯金高は人員三千八百四十圓五十一錢で一人平均十圓六十圓五十一錢と上つてゐるが、個別に見ると左の如くし

### 四倉町民に檄す

事である。世は今非常時と申して内には金輸出禁止後のインフレーション政策的景氣を此のまゝ、通常の景氣に据へつけて行かねばならぬ重大なる政策であり、外には滿洲問題の安定につき日本國內の財政と國民總意の盡力と兵力とを以て完成せしめねばならぬ重大なる任務と、國際聯盟退後の各國との關係並に聯盟退他の各盟、南洋諸島委任統治反對者に對する覺悟等ありて實に容易ならぬものがあるのである。

然して吾が四倉町と國家とは大小の差こそあれ内には經濟問題として漁業組合問題これは四倉の漁船が其の取り上げの魚を四倉に上げておくと組合に借金に代して何割、資本家に何割、組合への分金何分云々取り上げた魚の七八割も天引されてしまうから四倉に水あげせずして江名、小名濱に魚を上げる。此の江名、小名は四倉より魚は安いが單に分金だけで済むから此處に揚げて其處で必要品米味噌を仕込んで又船を出す。そこで四倉の魚商「ボテフリ」は江名から魚を買つて來て吾町内及び隣町に賣る。即ち昔々は海岸に住んで居りながら平、湯本邊の人の様に其の食する魚の多くは江名、小名より來る魚を食つて居るのである。此の結果はボテフリ謂ゆる魚商人は土着のボテフリでありながら商賣にならぬから江名、小名に引越すと云ふ事になつて居る。數年前までは草野村一圓、中神谷村邊まで四倉の魚賣りが行つて商賣をして居たものが現今は此邊は江名、豊間のボテフリが來て安い魚を買つて居ると云ふ始末で、四倉町財政の六七割を占て居る。

來る三十日執行せらるべき町會議員選舉に際し磐陽野球界の恩人

吉田金作氏

區民の熱誠なる推薦により逐鹿戦場に出馬決意致され候 御承知の如く同氏は三十餘年我海運界に身を置き日本郵船會社の名船長として東西兩半球の貿易港に足を印せざるなき國際人たるのみならず殊に歐洲大戰當時はコシヤ丸船長として獨乙エムデン號の慘禍にむかひゆる歐洲航路に幾度の航行を重ね何等禍も無きを得たる剛膽の人士に御座候 今や功なり名遂げ悠々故山に自適する境涯にありながら郷土愛に燃ゆる同氏が磐陽野球界向上の爲に貢献せる功績は吾等フアン一同の感激する所に御座候 如斯大陸的な氣宇と眞摯なる信念を持つ純情の郷土人こそは町會の淨化を計る最適任者之信じ推舉するものに候 日進月歩進展の途上に在る平町政刷新の爲め又磐陽野球界向上の爲めにも實に重大なる意義を有する事なれば御賢察被成下大多數を以て當選の榮冠を得せしめらるゝ様御援助賜り度懇望する次第に御座候 敬具 昭和八年五月

磐陽野球後援會有志

- 阿部 政右衛門 新田 春 柴田 友次郎 石川 久次郎 井坂 謙次郎 熊木 忠三郎 高木 一太郎 外 幹事 高木忠三郎

推薦廣告

四倉町會議員候補者 大和田安太郎君 昭和八年五月二十三日 責任者 四倉町字志津一〇七 新妻春次

平町會議員候補者

關内正一君

推薦者 平町二丁目十三番地 丹野榮三郎 鈴木 堅助 田卷 造酒之助 三井 文吉 石川 友次郎 丹野 榮三郎 關内 慶次郎 坂田 藤助 長瀬 延太郎 里見 金太郎 滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる藥酒「粟守酒」 朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は休眠の助力 粟守酒特約店 大平屋藥店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目一〇四六二

推薦廣告

四倉町會議員候補者 古河定兵衛君 君は資性温厚にして愛町の至誠燃ゆる如く任使たまきよくすべきもの多く町議として最選に認め推薦仕候間何卒同君に御投票賜はり度懇願奉り候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字仲町六七 高木龜松

推薦廣告

四倉町會議員候補者 長谷川西次郎君 是は人格識見共最選任のみならず多年町會議員として町政に盡すいしつあり茲に我等は再び推薦致し候間何卒諸賢の深甚なる御同情と御援助に依りて當選の榮を得せしめたく伏して奉懇願候 敬具 昭和八年五月二十日 責任者 四倉町字仲町九八片 寄留松

推薦廣告

長谷川長太郎君

四倉町會議員候補者 長谷川長太郎君 是は四倉町において堂々たる材業を営み一般地方より信用厚く町自治に精通し犧牲的精神を盛にして果敢なる決闘力に富み町政刷新の闘志として最選任者認め茲に推薦仕候間何卒諸賢の御共鳴を賜り當選の榮を荷はしめられ度切に懇願仕候 敬具 昭和八年五月二十日 責任者 四倉町字新町卅一 青木榮三郎

推薦廣告

豐田耕作君

四倉町會議員候補者 豐田耕作君 是は新進有位の士にして人格識見共に備へ意志堅固なる最てき任者として推薦候間是非同君のために諸士の御同情と御援助を賜り度伏して御願申上候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字仲町百四十七番地 責任者 佐藤廣次

推薦廣告

菅波末吉君

四倉町會議員候補者 菅波末吉君 是は資性温厚にして愛町の至誠燃ゆるが如し任使たまきよくすべきもの多く町議として最選に認め推薦仕候間何卒同君に御投票賜はり度懇願奉り候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字新町一四 責任者 佐藤定次郎

推薦廣告

中野捨與君

四倉町會議員候補者 中野捨與君 是は多年町政に干與し町自治に對する効甚大にして再び最選任者認め推薦候間貴家の深甚なる御援助を賜り度偏に御願申上候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字本町五八 責任者 佐藤唯之助

推薦廣告

小港宗吉君

五月三十日執行の四倉町會議員の改選に際し候補者として 小港宗吉君 是は人格識見共最選任者のみならず多年町會議員として町政に盡すいしつあり、こゝに我等は再び推薦致し候間何卒諸賢の深甚たる御同情と御援助に依りて當選の榮を得せしめたく伏して奉懇願候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字本町八十八番地ノ二 責任者 大河原米松

推薦廣告

佐藤態藏君

四倉町會議員候補者 佐藤態藏君 是は立候補致しましたが目下當落の危境にありませぬ何卒貴下の清き一票は同君へ御惠投下さりて當選出來ますやう伏して御願申上げます 昭和八年五月二十日 四倉町字本町十六番地 責任者 山野邊寅太郎

推薦廣告

小港平次郎君

四倉町會議員候補者 小港平次郎君 是は多年の町會議員として町自治に盡すいし今般の改選に際し最選任と認め推薦仕候間同君のために來る五月三十日は諸賢の清き一票を御惠投下されて當選の榮を賜り度伏して奉懇願候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町新町六五 責任者 松本文太郎

推薦廣告

鈴木幸次郎君

四倉町會議員候補者 鈴木幸次郎君 是は新進熱血兒にして町自治の現狀をなげき今般同氏を最選任者認め治自衛の淨化に就て同は同君に倣つもの甚だ多く考候間是非共深甚の御同情に依り當選の榮を得せしめられたく伏して奉懇願候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字本町七十一 責任者 大谷義雄